

教育事務所だより

令和5年3月13日発行

さまざまな出会いの中で ～島根出身の選手の活躍から～

所長 片寄 泰史

年度末となりました。どこの学校園においても、教職員の皆様も子どもたちもそれぞれ、進学、卒業、進級に向けて、まとめの学期として取り組んでおられることと思います。

今年度も、限られた人員の中で新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら、子どもたちの学びを止めず、豊かなものになるようにご尽力されている学校園の教職員の皆様に敬意を表します。この1年の教育活動によって子どもたちが健やかに成長し次のステップに歩みだせるように導いていただいていることに感謝申し上げます。

さて、この原稿を書いている時点（2月初旬）での話になりますが、年末年始から現時点までにおいて各種スポーツの大会がありました。島根からも県予選で勝ち上がったチームや他の地域へ進学した先で出場した選手の活躍をテレビ等で観戦しました。島根のチームや島根出身の選手の活躍を大変誇らしく感じました。

その中でも、特に注目したのが、箱根駅伝で総合優勝した駒澤大学のメンバーとして6区を走り、区間賞の快走をした1年生の伊藤蒼唯選手（出雲工業高校出身）のことです。同じく箱根を走った島根県出身で東京五輪3000m障害走7位入賞の順天堂大学三浦龍司選手のことは知っていましたが、伊藤選手のことは存じ上げませんでした。そこで調べてみると、伊藤選手は中学、高校時代、島根県では長距離走のトップランナーだったのですが、全国高校総体や中国高校総体での上位入賞の結果は見当たりません。伊藤選手が高校1年時に1区を走った都道府県対抗駅伝でも振るわなかったようです。このことから、大学駅伝の強豪校である駒澤大学のレギュラーとして箱根を走ったこと、また区間賞を獲得したこと（ちなみに優勝した駒澤大学で、区間賞獲得は伊藤選手だけ）はなおさら驚きでした。

どのような経緯で強豪駒澤大学の陸上部（駅伝部）に入部したのか興味をもちました。すると高校1年生の時に、10月の出雲駅伝大会の後に行われる、各大学の駅伝で走らなかつた補員がタイムトライアルを行う競技会に地元の高校生として参加し、駒澤大学の八木監督に声をかけられたようです。私は、この八木監督の選手の素質を見抜く慧眼に感服するとともに、この出会いが伊藤選手の人生を大きく変えたのだと思いました。

そして駒澤大学に入学し、今回の箱根での伊藤選手の区間賞の走りに、八木監督は「伊藤は入学してからずっと怪我もなく、ものすごく練習をやってきたし合宿もほとんど参加した。下りを練習させたらいい感じで下れる選手だったし、本人も得意と言っていたのでこれは賭けてみようかなという思いもあった。そしたら見事にハマった。練習は嘘つかないな（笑）」とインタビューに答えられたそうです。

優秀な指導者に導かれレベルの高い部員と厳しい練習を積んでいくトップレベルの環境が、伊藤選手を大いに伸ばしたのだと思います。

それと同時に思ったのは、いくらトップレベルの環境においても、そこで力を発揮するためにはベース（基盤）がないと難しいということです。伊藤選手には小さいころから箱根で走りたいという大きな夢や全国の壁に跳ね返されてもあきらめない強い信念、大学での厳しい練習や合宿でも粘り強く取り組むだけの忍耐力や真摯な姿勢、向上心などがあったということ。そして、それは幼少期から大学に入るまでの間に、島根で出会った様々な方々の教育により培ったものなのだと感じます。

「啐啄同時（そったくどうじ）」。禅語で、鳥の雛が卵から生まれ出ようと殻の中から卵の殻をつついて音をたてた時、それを聞いた親鳥がすかさず外からついでに殻を破る手助けをすることを意味します。教育の世界でも、子どもの成長の機会を見逃さず教職員がタイミングを捉えて関わることとして使われる言葉です。伊藤選手の活躍はまさにこれだと思いました。島根の教育で十分に培われたベースがあったからこそ、トップレベルの教育に出会い才能が一気に開花したのだと。このことは三浦選手にも言えることだと思います。

郷土の選手の活躍をうれしく思いながら、改めて出会いの大切さと教育のもつすばらしさを感じることができました。



1 令和4年度の学校訪問指導をふりかえって

今年度より、「初任者研修に係る訪問指導」、「県事業実施校訪問」以外の訪問指導については、悉皆の訪問指導を廃止し、学校の要望・課題に応じた訪問指導、学校の主体的な取組を支援する訪問指導（以下、「希望型訪問指導」と表す。）に限定しました。

「希望型訪問指導」の希望校の総数は43校で、管内全体の学校数の約6割の学校から申請がありました。昨年度と比較すると約1割増加しています。

今回は、主にこの訪問指導についてふりかえります。

図1 希望型訪問指導の内訳（学校数）

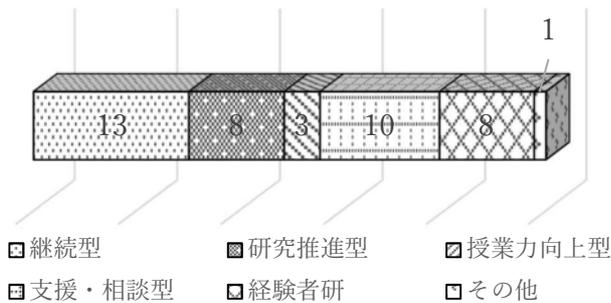
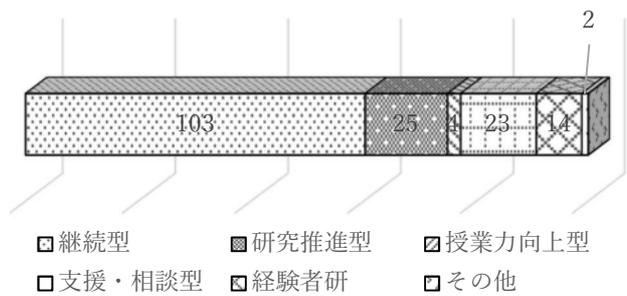


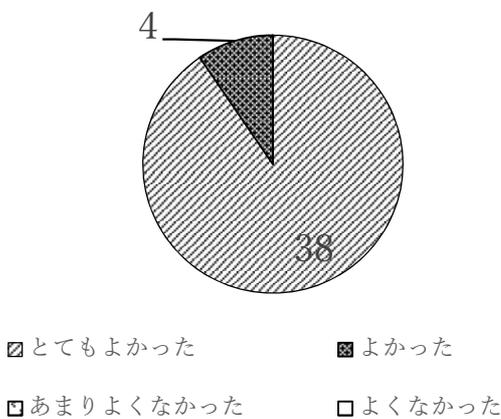
図2 希望型訪問指導の内訳（訪問回数）



【図1】は、希望型訪問指導を申請された学校数を訪問指導の種別に整理したものです。「継続型訪問指導」が最も多く13校、また、今年度新設した「支援・相談型訪問指導」にも10校から申請がありました。

【図2】は、希望型訪問指導について、担当指導主事が訪問した回数を訪問指導の種別に整理したものです。訪問指導を実施した総数は171回、訪問指導によっては訪問が複数回となっています。特に「継続型訪問指導」では1校につき7～8回程度訪問しています。

図3 訪問指導の評価



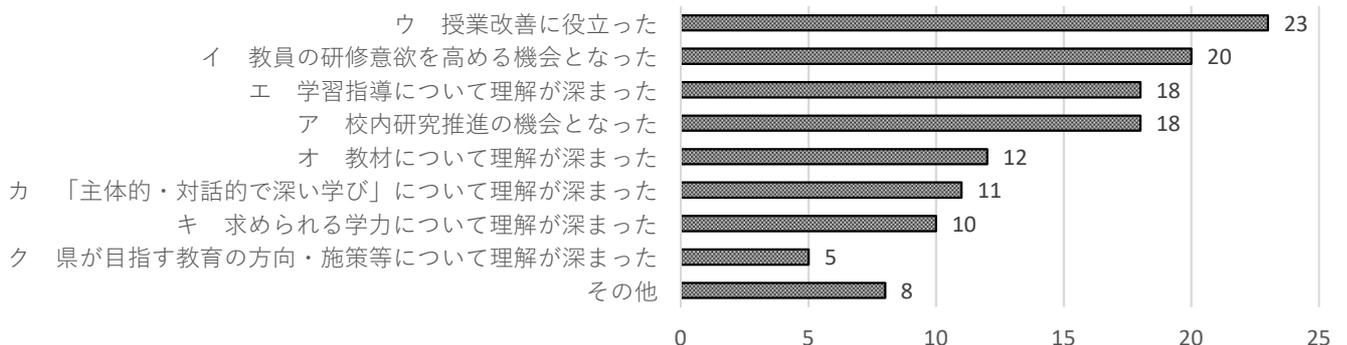
【図3】と【図4】は、訪問指導後に学校に協力いただいたアンケート結果の一部を整理したものです。（一つの学校に複数回アンケートをお願いしている場合もあります。）

【図3】（回答総数42）は、訪問指導に関する全体的な評価の結果です。「とてもよかった」、「よかった」という肯定的な回答を全ての学校からいただくことができました。

【図4】（回答総数29）では、その理由を回答の多かった順に整理しています（複数回答）。各校の授業改善や校内研究を進める上で役に立った、という理由が多く見られました。

また、次頁の枠内には、継続型訪問指導を申請された学校からいただいた感想等を載せています。

図4 項目別回答数



【 継続型訪問指導の実施校 】 感想等(抜粋)

- ・本校の研究についてよく知っていたうえで継続的に指導していただけることで、実態に即した助言をいただき、研究を深めることができた。
- ・相談にも快く応じていただき、ありがたかった。継続して関わっていただき、「この前の〇〇先生の授業では・・・」と、取り組みを繋げて指導いただいたこともありがたかった。
- ・教職員が困っていることや疑問について、いつでも快く指導助言をいただくことができた。
- ・専門的な視点からのご指導やご助言は、職員全体の授業づくりの考え方を共通理解するよい機会となったり、自分の授業づくりを見直したり、よりよくしていこうとする意欲の高まりにつながりました。
- ・学校の希望に沿った内容や日程で、ご指導していただくことができ、校内研究をすすめていく上で大変助かりました。また、現場のこともよく理解していただき、実践に生かせるような話をしていただくことができたので参考にさせていただきました。

いずれの学校も、校長先生のリーダーシップのもと、校内研究を核とし、全ての教職員が一つになって熱心な取組が展開されました。次年度以降も、引き続き学校教育目標達成に向け、主体的な取組が展開されることを願っています。
また、教育事務所では、いただいたご意見等を次年度以降の訪問指導に生かしたいと考えています。

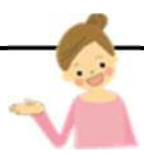
2 令和5年度の学校訪問指導について

訪問指導の種類・内容は今年度と同じです。基本的な枠組を下表のように整理しました。（「希望」と「悉皆」の視点で分類しています。）

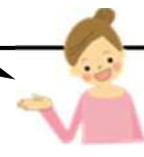
I 学校の希望による学校訪問指導		【希望】
授業改善推進に係る訪問指導	継続型訪問指導	「子ども主体の学びを目指したい。」 「校内研究の方向性について相談したい。」 「生徒指導の視点を生かした授業について研修したい。」 「特別支援教育の校内体制づくりについて相談したい。」・・・
	研究推進型訪問指導	
	授業力向上型訪問指導	
	支援・相談型訪問指導	
経験者研修に係る訪問指導		
職務に係る相談・助言、または研修に係る訪問指導		
幼小接続に係る訪問指導		
生徒指導に関する内容についての研修、または助言・指導に係る訪問指導		
特別支援教育に関する内容についての研修、または助言・指導に係る訪問指導		
II 次の対象者が在籍する全ての学校において実施する学校訪問指導		【悉皆】
(対象者)		(内容)
初任者(教諭)		状況把握(1回), 研究授業(1回)
新規採用教職員(養護教諭, 栄養教諭, 事務職員)		状況把握(1回), 研修実施状況等の把握(1回)
新任担当者	特別支援学級	研究授業, 研究協議, 面談
	通級指導教室	状況把握
新設通級指導教室担当者		状況把握
III 県事業実施校訪問		【悉皆】
生徒指導に係る県事業実施校訪問 (不登校等対応体制充実事業, 中学校クラスサポート事業, 学びいききサポート事業)		
ここにこサポート事業実施校訪問		
IV 特別支援教育支援専任教員による学校支援に係る訪問		【希望】
特別支援教育に関する内容についての相談・支援に係る訪問		



「子ども主体の学びを目指したい。」
「校内研究の方向性について相談したい。」
「生徒指導の視点を生かした授業について研修したい。」
「特別支援教育の校内体制づくりについて相談したい。」・・・



「I 学校の希望による訪問指導」では、このような学校のさまざまな要望や課題に応じた支援を行います。また、養護教諭、栄養教諭、事務職員の職務に関する相談にも応じます。また、年度中途でも訪問指導を申請することもできます。



特別支援教育支援専任教員は、特別支援学級の相談だけでなく、通常の学級の相談も受け付けています。管理職に相談の上、まずはお電話ください。

※ 学校訪問指導の詳細は、3月28日に配布する「令和5年度 学校訪問指導実施要項」でご確認ください。

令和5年度 管内研修会等予定

R5. 2 現在
松江教育事務所

月	日(曜)	研修会等	会場
4	14(金)	新任教職員研修に係る連絡協議会Ⅱ	オンライン
	18(火)	全国学力・学習状況調査	各学校
	20(木)	ゼロから学びたい先生のための教科教育研修(中学校免許外:技術)	浜田教育センター等
	21(金)	ゼロから学びたい先生のための教科教育研修(中学校免許外:美術・保体)	浜田教育センター
	26(水)	小・中学校特別支援学級,通級指導教室新任担当教員研修(第1回)※対象者については要項で確認	島根県教育センター
5	25(木)	ゼロから学びたい先生のための教科教育研修(中学校免許外:音楽)	浜田教育センター
	26(金)	新任特別支援教育コーディネーター研修(第1回)	オンライン
		管理職研修(新任副校長・新任教頭 第1回)	オンライン
	30(火)	管理職研修(新任校長 第1回)	島根県教育センター
6		小・中学校事務職員新任事務リーダー研修(第1回)	島根県教育センター
		日本語指導が必要な児童生徒教育研修(新任担当者)	出雲合同庁舎
	1(木)	生徒指導主任・主事等研修	松江合同庁舎
		小・中学校新任研究主任等研修	オンライン
	2(金)	ゼロから学びたい先生のための教科教育研修(中学校免許外:家庭)	浜田教育センター
		特別支援学級担任スキルアップ研修(第1回)	オンライン
	8(木)	特別な支援のための非常勤講師(にこさぽ)研修	島根県教育センター
		複式学級新任担当者研修Ⅰ	オンライン
	9(金)	小・中学校事務職員主事研修(第1回)	島根県教育センター
	16(金)	小・中学校事務職員主任研修(第1回)	オンライン
		中学校数学理科教員授業力向上研修:数学(第1回)	オンライン
	20(火)	新任学校図書館担当者研修	オンライン
	特別支援教育専門性向上研修(第1回)	島根県教育センター	
21(水)	管理職研修(2年目副校長・2年目教頭 第1回)	オンライン	
22(木)	中学校数学理科教員授業力向上研修:理科(第1回)	オンライン	
	人権教育担当主任等研修	松江合同庁舎	
23(金)	特別支援学級担任3年目研修	島根県教育センター	
28(水)	小・中学校等校長学校経営実践研修	オンライン	
7	4(火)	主幹教諭研修(新任)	オンライン
	5(水)	主幹教諭研修(2年目)	オンライン
	13(木)	養護教諭研修	松江合同庁舎
	14(金)	管理職研修(新任副校長・新任教頭 第2回,3年目副校長・3年目教頭)	島根県教育センター
	29(土)	科学の甲子園ジュニア島根県予選大会	(未定)
8	1(火)	ふるさと教育研修	松江合同庁舎
	2(水)	小学校体育実技研修(～3日)	松江合同庁舎・松江市総合体育館
	7(月)	小・中学校特別支援学級,通級指導教室新任担当教員研修(第2回)	オンライン
		小・中教務主任研修	島根県教育センター
	8(火)	ミドルリーダー育成研修(～9日)	ビッグハート出雲
	18(金)	初任者研修連絡協議会Ⅲ	オンライン
25(金)	新任特別支援教育コーディネーター研修(第2回)	松江合同庁舎	
29(火)	新任養護教諭研修連絡協議会Ⅲ	島根県教育センター	
9	26(火)	中学校体育教員陸上競技研修	松江市立鹿島総合体育館
10	13(金)	通級による指導担当教員等研修	松江合同庁舎
	17(火)	特別支援教育専門性向上研修(第2回)	島根県教育センター
	18(水)	小・中学校等教頭学校運営実践研修	オンライン
	29(日)	しまね数リンピック	松江合同庁舎 他
	31(火)	中学校数学理科教員授業力向上研修:数学(第2回)	オンライン
11	2(木)	小・中学校事務職員主事研修(第2回)	島根県教育センター
	7(火)	中学校数学理科教員授業力向上研修:理科(第2回)	オンライン
	10(金)	小・中学校事務職員事務リーダーフォローアップ研修	浜田教育センター
	16(木)	管理職研修(新任校長,2年目校長)	島根県教育センター
	21(火)	小・中学校事務職員主任研修(第2回)	オンライン
	22(水)	管理職研修(2年目教頭 第2回)	島根県教育センター
12	1(金)	小・中学校事務職員新任事務リーダー研修(第2回)	島根県教育センター
		小・中学校特別支援学級,通級指導教室新任担当教員研修(第3回)※対象者については要項で確認	島根県教育センター
	5(火)	島根県学力調査(～6日;2日間で実施する場合)	各学校
	7(木)	日本語指導が必要な児童生徒教育研修	出雲合同庁舎
	8(金)	小・中学校特別支援学級,通級指導教室新任担当教員研修(第3回)※対象者については要項で確認	島根県教育センター
1	17(水)	小・中学校「総合的な学習の時間」研修(松江橋北の小・中学校,義務教育学校)	松江合同庁舎
	19(金)	小・中学校「総合的な学習の時間」研修(松江橋南・安来の小・中学校)	松江合同庁舎
		特別支援学級担任スキルアップ研修(第3回)	島根県教育センター
	23(火)	管理職研修(新任副校長・新任教頭 第3回)	オンライン
2	7(水)	ミドルリーダー育成研修	島根県教育センター
3	26(火)	R6初任者研修連絡協議会(第1回)	オンライン

- 指定研修等を中心に記載しています。
- 初任者研修,経験者研修(6年目,中堅),能力開発講座等については掲載していません。
- 今後,変更になる可能性があります。必ず「令和5年度島根県教職員研修計画一覧表」で確認願います。